

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第41週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は 551 人 ( 定点あたり 16.8 ) で、前週比 88% と減少した。

### インフルエンザ・小児科定点からの報告

前週に比べ増加した主な疾患は A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は R S ウイルス感染症であった。

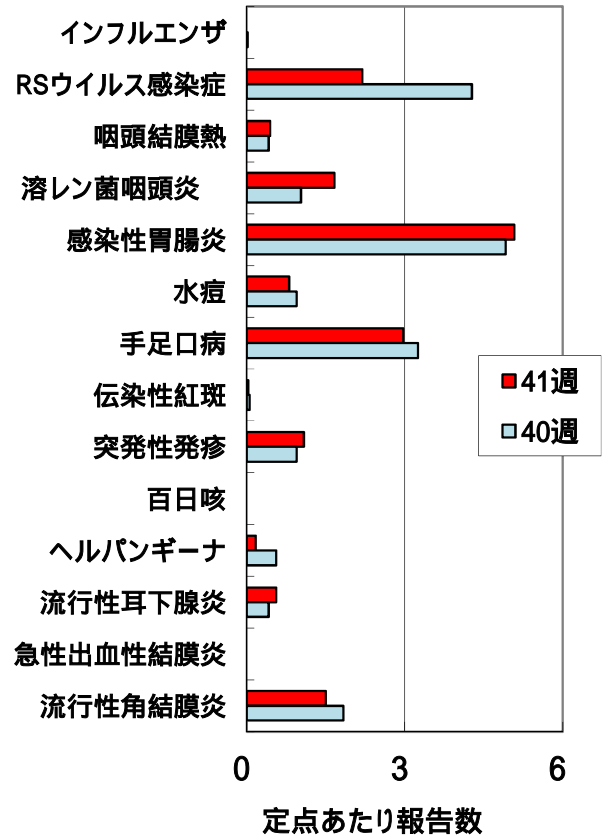
#### 【 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 】

・報告数は 60 人 ( 1.7 ) で前週比 162% と増加した。例年同時期の定点あたり平均値 ( 1.1 ) の約 1.6 倍である。延岡 ( 9.0 ) 保健所からの報告が多く、年齢別では 3 歳から 6 歳が全体の約 6 割を占めた。

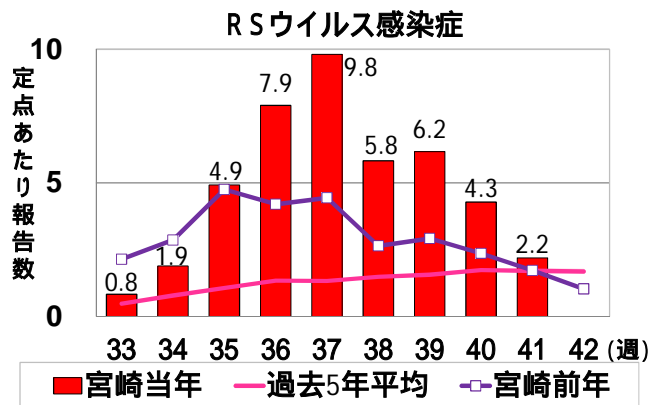
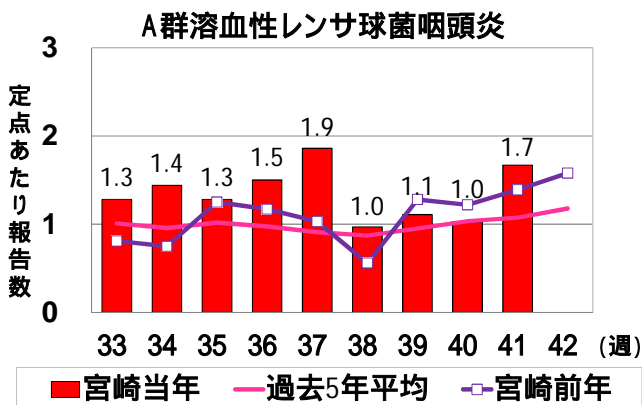
#### 【 R S ウイルス感染症 】

・報告数は 79 人 ( 2.2 ) で前週比 51% と減少した。例年同時期の定点あたり平均値 ( 1.7 ) の約 1.3 倍である。延岡 ( 5.5 )、日南 ( 3.0 ) 保健所からの報告が多く、年齢別では 2 歳以下が全体の 96% を占めた。

## (前週との比較)



A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



### 基幹定点からの報告

マイコプラズマ肺炎：都城・延岡 ( 各 1 人 ) 保健所から報告された。患者は 7 歳と 10 歳代。

## 流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.0)
日南	手足口病(6.7)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

\* 流行警報レベル開始基準値 \*

・手足口病(5.0)

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)

## 全数把握対象疾患

1類感染症：報告なし。

2類感染症：結核9例。

3類感染症：報告なし。

4類感染症：レジオネラ症1例。

5類感染症：アメーバ赤痢1例、急性脳炎1例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状
2類	結核	宮崎市	40歳代	疑似症	咳、痰
			70歳代	無症状	-
			70歳代	肺結核	発熱
			70歳代	肺結核	咳、痰、発熱
			80歳代	肺結核	痰
			90歳代	肺結核	咳、痰
		延岡	30歳代	その他の結核 (頸部リンパ節炎)	頸部リンパ節腫大
延岡	80歳代	肺結核	咳、痰、発熱		
日南	80歳代	肺結核	発熱、呼吸困難		
4類	レジオネラ症	宮崎市	60歳代	肺炎型	発熱
5類	アメーバ赤痢	宮崎市	40歳代	腸管外アメーバ症	発熱、右季肋部痛、肝膿瘍、腹膜炎
	急性脳炎	宮崎市	7ヶ月	病原体不明	発熱、痙攣、意識障害
	クロイツフェルト・ヤコブ病	宮崎市	60歳代	古典型クロイツフェルト・ヤコブ病 診断の確実度：ほぼ確実	進行性認知症、ミオクローヌス、錐体路症状、小脳症状、視覚異常、無動性無言状態

# 病原体情報（衛生環境研究所微生物部 平成 24 年 10 月 16 日までに検出）

ウイルス  
報告なし

## 細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Mycoplasma Pneumoniae</i>	不明	男	2012.9.5	マイコプラズマ感染症疑	咽頭ぬぐい液	2012.10.4
<i>Salmonella</i> Braenderup (O7:e,h:e,n,z15)	10代前半	女	2012.10.1		便	2012.10.11
毒素原性大腸菌 (O15:H18 ST <sub>h</sub> )	40代前半	女	2012.10.3	発熱(37.4)、下痢、腹痛(タイ旅行)	便	2012.10.12
毒素原性大腸菌 (O128:H12 ST <sub>p</sub> )	30代前半	女	2012.10.9	下痢、腹痛	便	2012.10.16

## 全国第 40 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 10.8 で、前週比 100%と横ばいであった。今週増加した主な疾患は A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎と R S ウイルス感染症で、減少した主な疾患はヘルパンギーナとインフルエンザであった。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 3,161 人(1.0)で、前週比 107%と増加した。北海道・山口県(各 2.3)、福井県(2.1)からの報告が多く、年齢別では 4 歳から 6 歳が全体の約 4 割を占めた。

R S ウイルス感染症の報告数は 5,007 人(1.6)で、前週比 107%と増加した。佐賀県(5.5)、宮崎県(4.2)、福岡県(4.0)からの報告が多く、年齢別では 2 歳以下が全体の約 9 割を占めた。

### 全数把握対象疾患（全国第 40 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	329 例				
3類感染症	細菌性赤痢	6 例	腸管出血性大腸菌感染症	102 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E 型肝炎	1 例	A 型肝炎	1 例	チクングニア熱	1 例
	つつが虫病	2 例	デング熱	10 例	日本紅斑熱	9 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	17 例	レプトスピラ症	1 例
5類感染症	アメーバ赤痢	12 例	ウイルス性肝炎	2 例	急性脳炎	4 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例	後天性免疫不全症候群	16 例	梅毒	14 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	風しん	42 例
	麻しん	5 例				

\*風しん：東京都（15 例）からの報告が多い。

## 月報告対象疾患の発生動向 <9月>

### 性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は34人（2.6）で、前月比70%と減少した。また、昨年9月（4.0）の約7割であった。

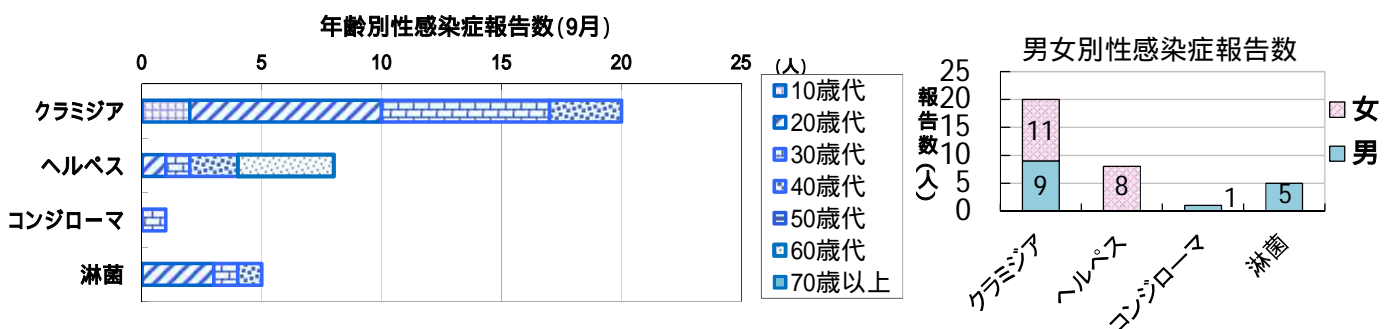
#### 《疾患別》

性器クラミジア感染症：報告数20人（1.5）で、前月の約6割、前年の約9割であった。都城（4.0）保健所からの報告が多く、20歳代・30歳代がそれぞれ全体の約4割を占めた。

性器ヘルペスウイルス感染症：報告数8人（0.62）で、前月の約1.6倍、前年の約1.3倍であった。60歳代が全体の半数を占めた。

尖圭コンジローマ：報告数1人（0.08）で、前月の約2割、前年の約1割であった。30歳代の男性であった。

淋菌感染症：報告数5人（0.38）で、前月の約8割、前年の約4割であった。すべて男性で20歳代が全体の約6割を占めた。



【全国】 定点医療機関総数：971

定点医療機関からの報告総数は4,127人（4.3）で、前月比97%と横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,147人（2.2）で前月比98%、性器ヘルペスウイルス感染症697人（0.72）で前月比96%、尖圭コンジローマ475人（0.49）で前月比98%、淋菌感染症808人（0.83）で前月比95%であった。

### 薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は29人（4.1）で前月比91%と減少した。また、昨年9月（3.4）の約1.2倍であった。

#### 《疾患別》

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数27人（3.9）で、前月の約9割、前年の約1.4倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人（0.14）で、前年の約3割であった（前月報告なし）。70歳以上の報告であった。

薬剤耐性緑膿菌感染症：報告数1人（0.14）で、前月の約3割、前年と同程度であった。70歳以上の報告であった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：469

定点医療機関からの報告総数は1,943人（4.2）で、前月比92%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,701人（3.6）で前月比91%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症220人（0.47）で前月比102%、薬剤耐性緑膿菌感染症22人（0.05）で前月比71%、薬剤耐性アシネトバクター感染症の報告はなかった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2012年 第41週(10月08日～10月14日)

疾病名		第40週	第41週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1										
	定点あたり	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	154	79	16	15	22	9	1	8	1	7	
	定点あたり	4.28	2.19	1.60	2.50	5.50	3.00	0.33	2.00	1.00	1.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	15	16	2	1	7	5				1	
	定点あたり	0.42	0.44	0.20	0.17	1.75	1.67	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	37	60	6	2	36	8		4		3	1
	定点あたり	1.03	1.67	0.60	0.33	9.00	2.67	0.00	1.00	0.00	0.75	1.00
感染性胃腸炎	報告数	177	183	24	40	17	24	33	17	2	22	4
	定点あたり	4.92	5.08	2.40	6.67	4.25	8.00	11.00	4.25	2.00	5.50	4.00
水痘	報告数	34	29	7		5	4	6			7	
	定点あたり	0.94	0.81	0.70	0.00	1.25	1.33	2.00	0.00	0.00	1.75	0.00
手足口病	報告数	117	107	36	18	6	20	6	8		9	4
	定点あたり	3.25	2.97	3.60	3.00	1.50	6.67	2.00	2.00	0.00	2.25	4.00
伝染性紅斑	報告数	2	1					1				
	定点あたり	0.06	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	34	39	14	3	10	4		5		3	
	定点あたり	0.94	1.08	1.40	0.50	2.50	1.33	0.00	1.25	0.00	0.75	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	20	6	2	1	2					1	
	定点あたり	0.56	0.17	0.20	0.17	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	15	20	3	11	2			1		1	2
	定点あたり	0.42	0.56	0.30	1.83	0.50	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25	2.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	11	9	8		1						
	定点あたり	1.83	1.50	2.67	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	2										
	定点あたり	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺 炎	報告数	1	2		1	1						
	定点あたり	0.14	0.29	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

\* 前週の報告数に一部訂正があります。

全数把握対象疾患累積報告数(2012年第1週～41週)

2類感染症	結核	203例(9)					
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	64例					
4類感染症	A型肝炎	3例	つつが虫病	13例	デング熱	1例	
	日本紅斑熱	9例	レジオネラ症	5例(1)	レプトスピラ症	1例	
5類感染症	アメーバ赤痢	3例(1)	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	8例(1)	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例(1)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	後天性免疫不全症候群	2例	
	梅毒	2例	破傷風	3例	麻しん	8例	

( )内は今週届出分、再掲